

授業科目 地域リハビリテーション学

【担当教員名】 小 野 敏 子		対象学年	3	対象学科	作業
		開講時期	後期	必修・選択	必修
		単位数	1	時間数	30
【一般目標：G I O】 地域リハビリテーションにおける多職種の役割と連携の重要性を認識する中で、作業療法士が果たす役割とともに、ケアマネジメントの理念と方法論を理解し、対象者の発症から生活の再構築まで、一貫したリハ・サービスが展開できる力を養う。					
【行動目標：S B O】 1. 地域リハビリテーションの概念とシステムの概要を述べることができる。 2. 介護保険サービス、その他の保健福祉サービスの概要を述べることができる。 3. 地域リハビリテーションに関わる各職種の役割の概要を述べることができる。 4. 障害者、高齢者の自立生活の意義を述べることができる。 5. ケアマネジメントの定義と、主な対象別の機能の概要を述べることができる。 6. 社会資源とケアマネジメントにおける位置づけを述べることができる。 7. 地域における連携とネットワークづくりのあり方について述べることができる。					
回数	授業計画又は学習の主題			SBO	
				番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1, 2	地域リハビリテーション活動の歴史、概念			1	講義
3, 4	リハビリテーション医療の流れと地域リハサービスの機能 介護保険サービス、その他の保健福祉サービス			1, 2	講義
5	地域リハビリテーションに関わる各職種の役割			3	講義
6	地域リハビリテーションと生活障害 障害者、高齢者の自立生活活動			4	講義
7, 8	地域リハビリテーションとケアマネジメント			5, 6	講義
9~11	主な対象別のケアマネジメントの機能と実際			5, 6	講義
12, 13	地域リハビリテーションにおける連携とネットワークづくり			7	講義
14	総合討論				討論、講義
【使用図書】		＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年・価格＞
教科書					
参考書		地域リハビリテーション白書2	澤村誠志・監修・編集	三輪書店	1998年¥7,000
その他の資料					
【評価方法】 出席、期末試験		【履修上の留意点】			